

**Guit**  
**5250 ホストエミュレータ**  
**(WEB 版)**

**管理者ガイド**

**1. 1 版**

2011年10月13日



フィス株式会社



## <目次>

1. 本書について .....	1
2. ファイル一覧 .....	2
(1) サーバー .....	2
(2) 端末 .....	3
3. レジストリー一覧 .....	4
4. ログファイルについて.....	5
5. プログラムのアンインストール.....	6
(1) サーバー .....	6
(2) 端末 .....	7
6. 修正プログラムの入れ替えについて.....	8
(1) サーバーにて EM5250SvcSetup.msi で入れ替える場合.....	8
(2) サーバーにて .asp を入れ替える場合 .....	8
(3) 端末プログラムを入れ替える場合.....	9
7. セッション情報ファイルの編集によるセッション作成／変更.....	10
8. セッションを指定した起動方法.....	12
9. リモート画面表示機能.....	14
10. その他 .....	16
【参考】全体概要図 .....	17

## 1. 本書について

本書は、ユーザーガイドには記述されていない運用管理に関わる詳細部分について記述しています。ユーザーガイドと合わせてご覧下さい。

本書は、以下の製品バージョンを対象として記述されています。

サーバー	3.0.0.2
端末（クライアント）	3.0.0.2

### 【お断り】

- (1) 本製品および、本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。また、本書の無断転載を禁じます。
- (2) 本製品および、本書の使用の結果として発生した、あるいはそれらを使用することが出来なかったことから発生した損害や不利益については、一切責任を行うものではありませんのでご了承ください。
- (3) お客様は、本製品をリバースエンジニア・逆コンパイル・逆アセンブルなどを行うことはできません。

## 2. ファイル一覧

### (1) サーバー

C:\Program Files\EM5250Server (※1)

EM5250Common.dll	エミュレータプログラム
EM5250Con.exe	管理コンソール画面
Em5250lu.exe	エミュレータプログラム
EM5250Server.exe	エミュレータプログラム
EM5250View.exe	リモート表示プログラム
lastdt.txt	ライセンス制御ファイル
lickey.txt	ライセンスファイル
message.dll	エミュレータプログラム
SessionProfile.xml	セッション情報ファイル
EMCommXX.log	デバッグログファイル (※2)
HostEmulator.Dll	端末側エミュレータプログラム (バージョン取得用)
930_932.tbl	コード変換テーブル (リモート画面表示用)
932_930.tbl	コード変換テーブル (リモート画面表示用)
932_939.tbl	コード変換テーブル (リモート画面表示用)
939_932.tbl	コード変換テーブル (リモート画面表示用)
atoe.tbl	コード変換テーブル (リモート画面表示用)
etoe.tbl	コード変換テーブル (リモート画面表示用)

C:\Program Files\EM5250Server\trace

コンピュータ名 XX.log 通信ログファイル (※2)

C:\inetpub\wwwroot\WebEmulator

5250.asp	起動トップページ
5250Setup.cab	端末配布用 ActiveX エミュレータプログラム
Session.asp	セッション制御プログラム
SessionList.asp	セッション制御プログラム

※1 インストールフォルダがデフォルトの場合

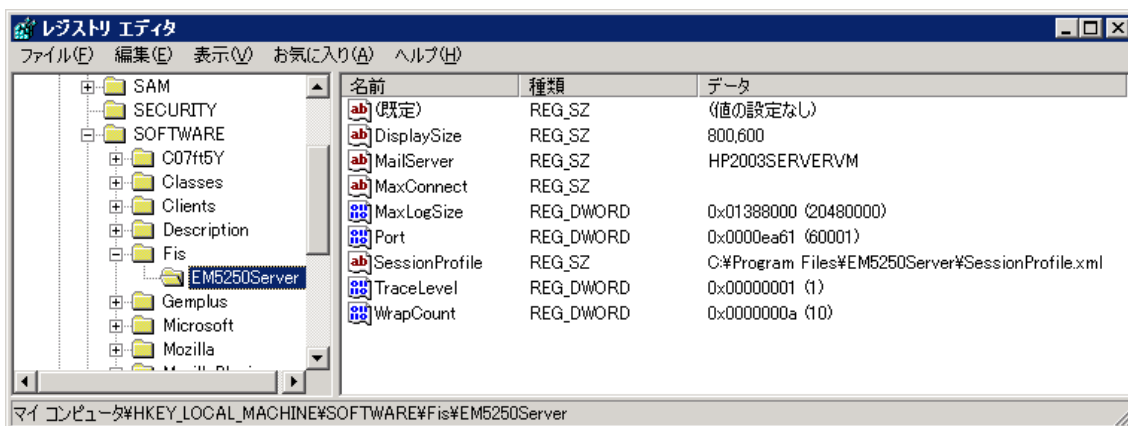
※2 XX は1からインクリメントされる数字

(2) 端末

C:\WINDOWS\system32

HostEmulator.dll	エミュレータプログラム
930_932.tbl	コード変換テーブル
932_930.tbl	コード変換テーブル
932_939.tbl	コード変換テーブル
939_932.tbl	コード変換テーブル
atoe.tbl	コード変換テーブル
etoa.tbl	コード変換テーブル

### 3. レジストリー一覧



DisplaySize	新規セッション作成時のエミュレータ画面サイズの設定値
MailServer	(未使用)
MaxConnect	(未使用)
MaxLogSize	ログファイルの最大サイズ (単位=バイト)
Port	Guiit サーバーの使用ポート
SessionProfile	セッション情報ファイルのパス (変更しないで下さい)
TraceLevel	デバッグログの出力内容のレベル 0~2
WrapCount	ログファイルのバックアップコピー回数

レジストリの変更を反映させるには、サービス再起動+管理画面 (em5250.exe) の再起動が必要です

#### 4. ログファイルについて

デバッグログファイル (EMCommXX. log)、通信ログファイル (コンピュータ名 XX. log) は、MaxLogSize を超えると XX (インデックス) を 1 ずつ増やしたファイル名にてファイル作成していきます。

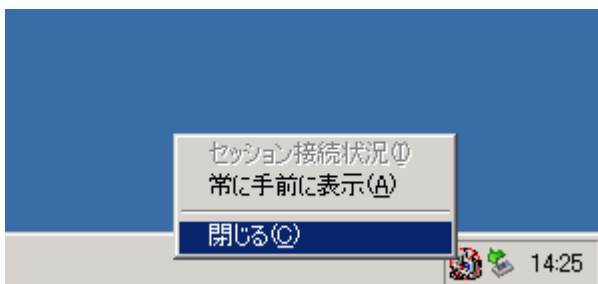
最大 WrapCount の数だけファイル作成し、最大に達するとまた最初のインデックスから上書きしていきます。



## 5. プログラムのアンインストール

### (1) サーバー

- ①管理画面よりサービスを停止してください
- ②タスクトレイのアイコンを右クリックし「閉じる」をクリックしてください

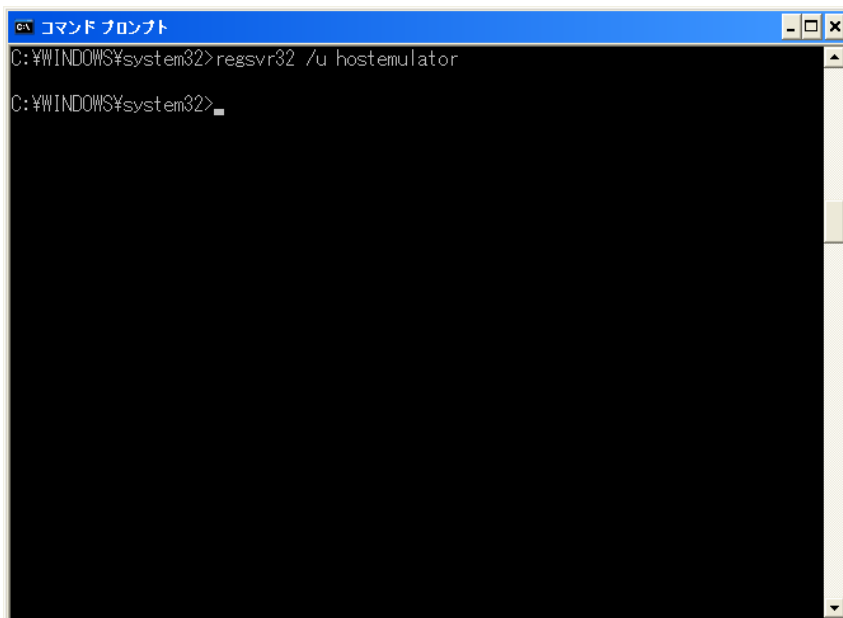


- ③[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]にて「EM5250SvcSetup」を削除してください

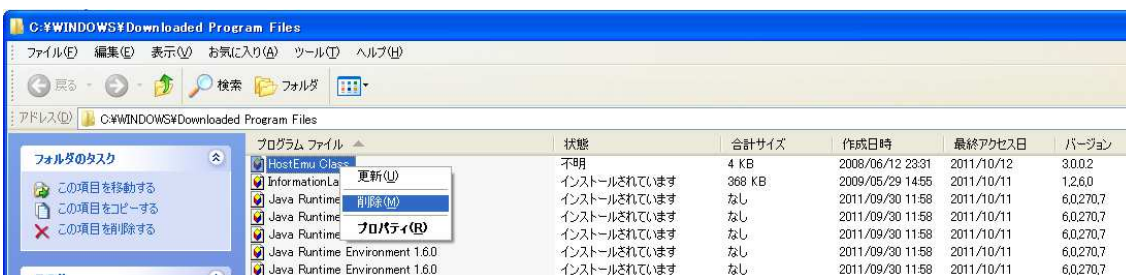


## (2) 端末

①コマンドプロンプトより、REGSVR32 /u hostemulator.dll を実行してください



②C:\WINDOWS\Downloaded Program Files の HostEmu Class を削除してください



## 6. 修正プログラムの入れ替えについて

各プログラムにより入れ替え方法が異なります。

以下のケースに分かれます。

### (1) サーバーにて EM5250SvcSetup.msi で入れ替える場合

「5. プログラムのアンインストール」の手順にてサーバープログラムをアンインストール後、EM5250SvcSetup.msi よりインストールを行なってください。

#### 《ご注意》

サーバープログラムのアンインストールを行なうとセッション情報ファイル SessionProfile.xml が削除されます。入れ替え後もセッション情報を継続して使用したい場合には、ファイルコピーでバックアップを取っておき、入れ替え後に元に戻してください。

### (2) サーバーにて .asp を入れ替える場合

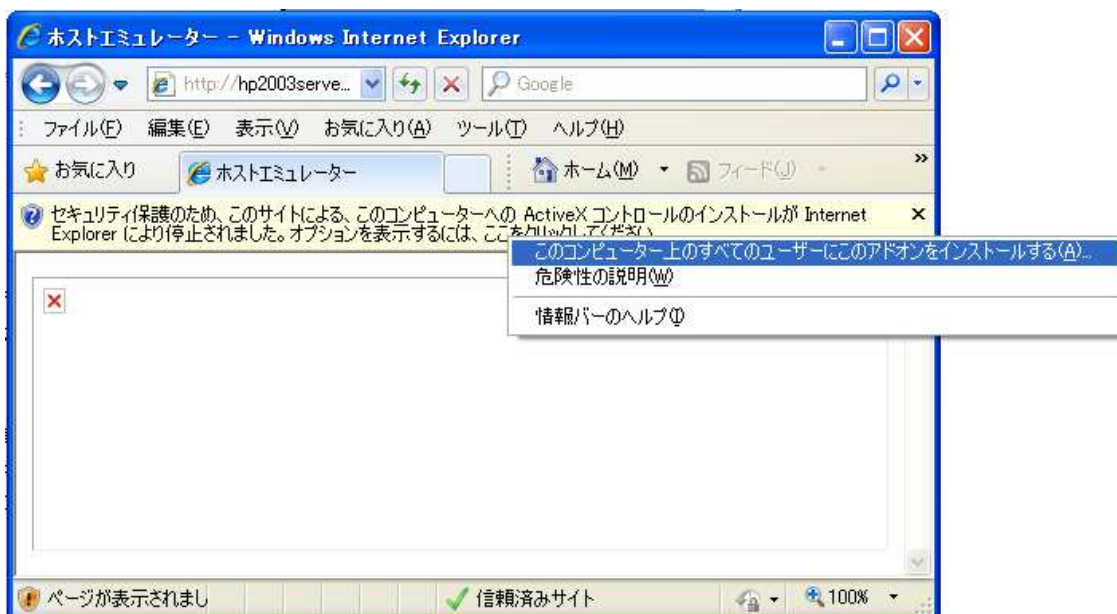
asp ファイルを上書きコピーしてください。

サービス起動したまま行なうことが可能です。

### (3) 端末プログラムを入れ替える場合

- ① サーバーにて 5250setup.cab ファイルを上書きコピーしてください。サービス起動したまま行なうことが可能です。
- ② 5250setup.cab を展開し HostEmulator.Dll を  
C:\¥inetpub¥wwwroot¥WebEmulator へ上書きコピーして下さい
- ③ 端末より 5250.asp を開き通常どおりエミュレータを起動してください。ブラウザ上にプログラムのインストールについての表示がされるので、インストールを行なって下さい。

インストールについての表示の一例（ブラウザ設定などにより変わります）



## 7. セッション情報ファイルの編集によるセッション作成/変更

セッション情報の作成や変更は通常管理画面から行ないませんが、セッション情報ファイル SessionProfile.xml を直接編集することによっても可能です。  
多数のセッション情報を作成する場合など、有用な方法です。

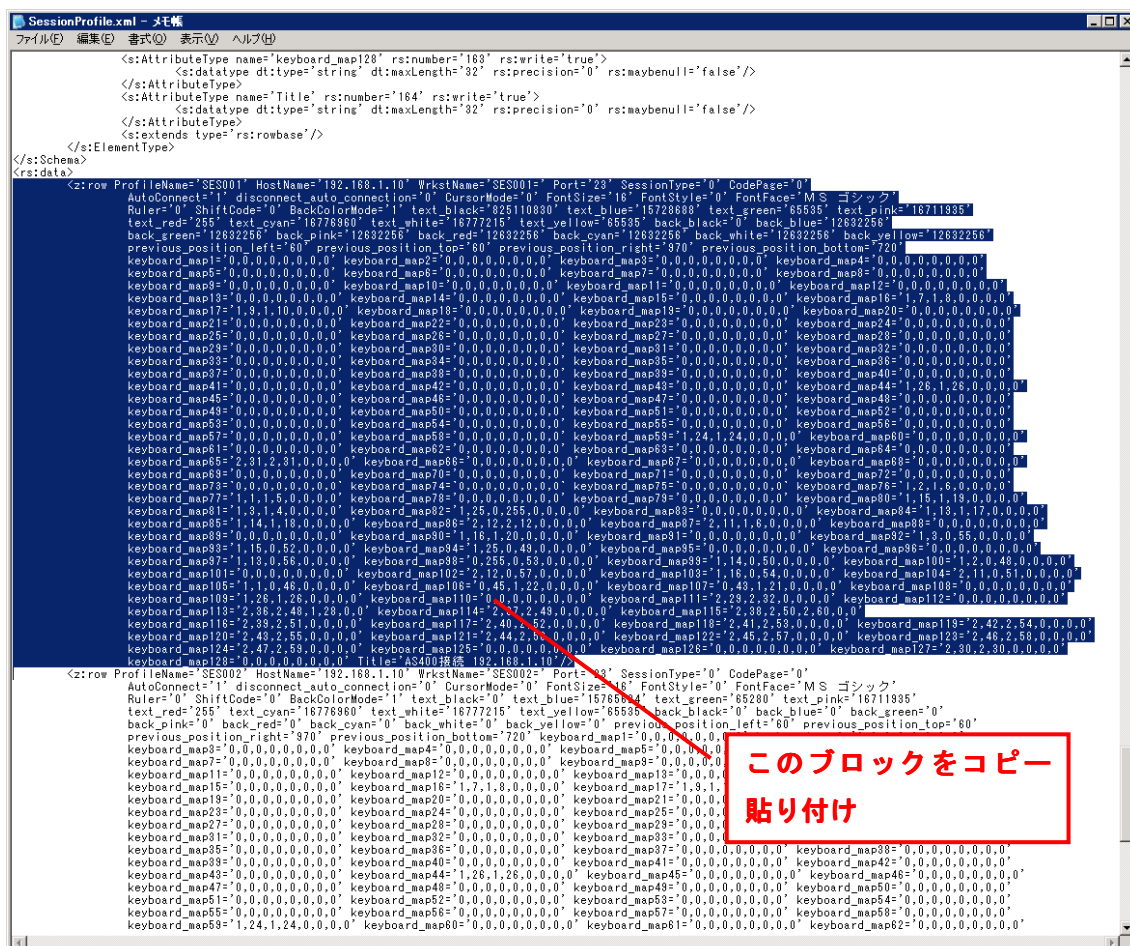
### 【他のセッションのコピーによりセッション作成する例】

#### ①他のセッションよりコピー作成

<z:row ProfileName='SES001'..... から

Title='AS400 接続 192.168.1.10' /> まで

が1つのセッション情報のため、このブロックをコピー貼り付け



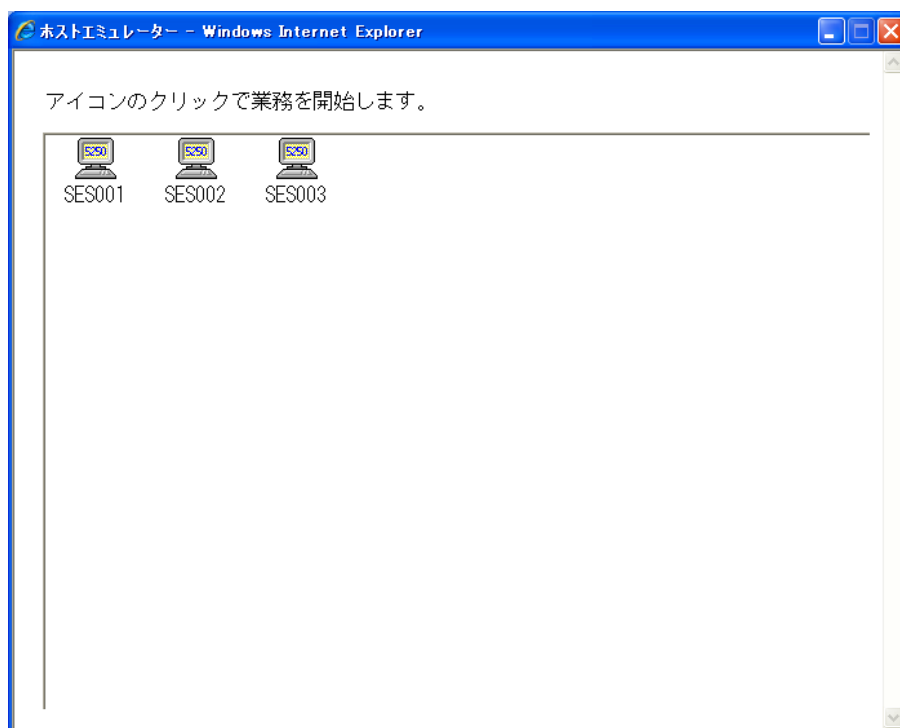
②貼り付けしたブロックにて以下の項目を適宜変更

(この項目以外は変更しないでください)

ProfileName=' SES001'	セッション名 (重複不可)
HostName=' 192.168.1.10'	接続先 AS/400
WrkstName=' SES001='	ワークステーション ID
Port=' 23'	AS/400 との通信ポート
CodePage=' 0'	コードページ 0:930 1:939
previous_position_left=' 60'	ウィンドウサイズ、位置
previous_position_top=' 60'	ウィンドウサイズ、位置
previous_position_right=' 970'	ウィンドウサイズ、位置
previous_position_bottom=' 720'	ウィンドウサイズ、位置
Title=' AS400 接続'	タイトル

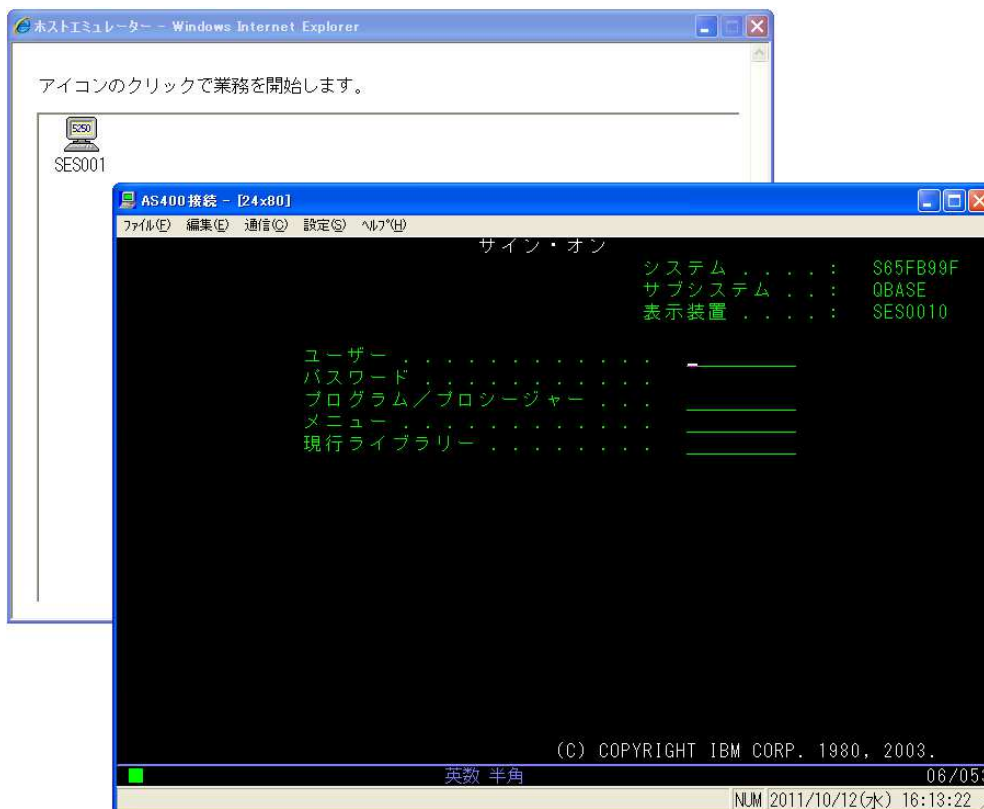
## 8. セッションを指定した起動方法

セッションが3つ定義されていた場合、5250.asp を開くと通常はセッションマネージャ画面に3つのセッションアイコンが表示されます。



5250. asp のパラメータにセッション名を付け開いた場合、エミュレータ画面が自動的に開きます。

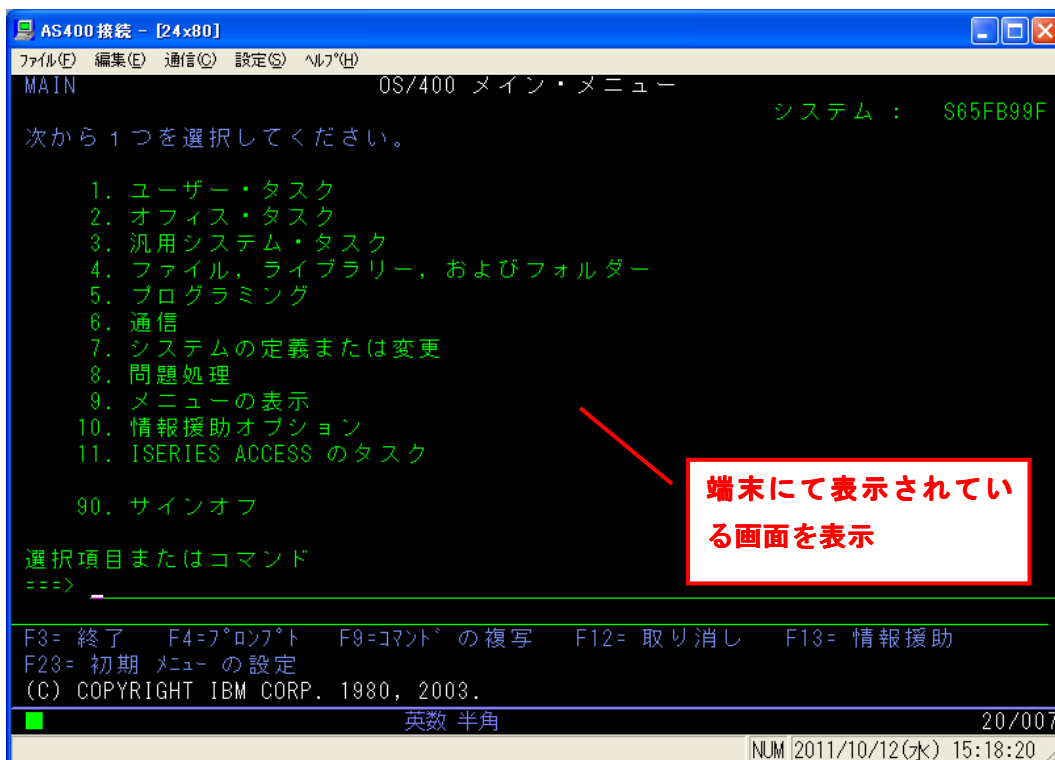
http://(サーバー名)/5250. asp?sessionname=ses001&auto=1

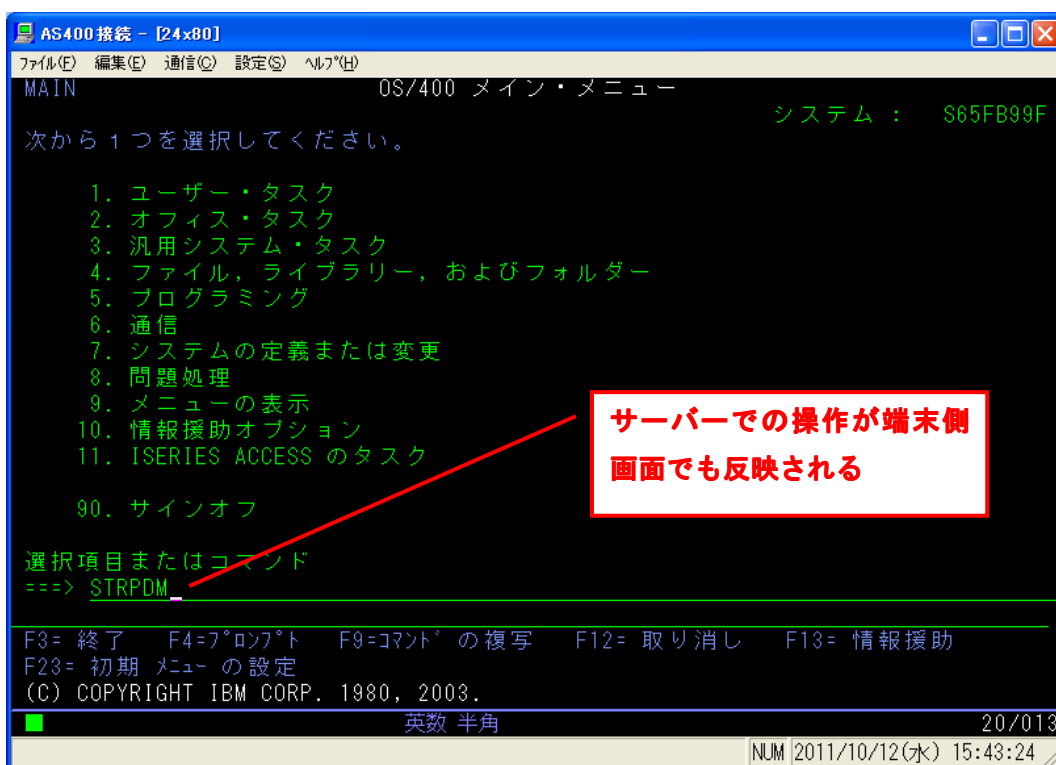




## 9. リモート画面表示機能

サーバーの管理画面には、端末のエミュレータ画面を表示／制御できる「リモート画面表示機能」が備わっています。





## 10. その他

- ・ 管理画面を操作する場合には、「administrator」ユーザーにて Windows ログインしてください。
- ・ セッション接続中には、そのセッションの設定は変更しないで下さい。

【参考】全体概要図

